

(様式3)

令和元年度中間報告

学校名 湯梨浜町立泊小学校

学校長 山本 洋介 印

1. 学校の教育目標

豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- (1) わかる授業の創造と確かな学力の育成
- 1時間単位で本時のねらいを達成できる授業づくりを推進する。
 - 単元づくりや学習過程を創意工夫し、授業改善に取り組み、言語活動の充実を図る。
 - ペア学習やグループ学習や情報機器の効果的な活用方法を工夫する。
 - 少人数指導を生かし、個別指導の充実を図る。
 - 校内授業研究会を充実し、学校全体で授業力の向上を図る。
 - 外国語活動・外国語を推進し、外国語への興味・関心を高める指導に取り組む。
(外国語活動・外国語授業研修の推進)
 - 家庭学習の手引きや「家庭学習がんばりカード」を活用しながら、家庭学習の習慣化とともに、自主学習につながる家庭学習へつなげたい。
 - 図書館利用の推進を図り、読書の習慣化を進めるとともに、授業の単元に関する図書の活用を充実を図る。
- (2) 潮風の中でたくましく生きる心と体の育成
- 全校集会(あったか集会、しおかぜ集会等)の取組、縦割り班活動をより充実させる。
 - 道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、思いやり豊かな心を育成する。
(道徳科の授業研修の推進、MIM指導の推進)
 - より良い言葉遣いのあり方については重点的に指導する。
 - 潮風タイム(業間運動)の取組を活用し、学校全体としての意識の向上を図り、学校全体の体力の向上を図っていく。
 - 食育指導を行い、健康な体づくりに関心を持たせるとともに、児童の基本的な生活習慣に関する意識の向上を図る。
- (3) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり
- 計画に基づく総合的な学習の時間の推進を図る。
 - 特色のある教育活動とふるさと学習の充実を図りながら推進するとともに、招待給食・しおかぜカフェの取組の充実を図る。
 - 学校だより、学級だよりを創意工夫し、子どもの活動の様子・子どものよさを積極的に情報発信する。
 - ホームページを活用し、旬な情報を発信する。

(様式3)

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	中間評価	課 題
(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成	B	・毎時間のねらいを明確にし、振り返りまでいくことが定着してきているので、全校で継続していきたい。 ・教員の授業に対するイメージがまとまってきているなので、講師よりいただいた指導助言を全校で生かしていく雰囲気さをさらに高めていきたい。 ・「書くこと」の研究を進めているが、日記など日頃書く文章の中で授業で学んだことを生かせるように働きかけたい。 ・家庭学習について「家庭学習がんばりカード」でとても充実している児童が多くいることが分かる。しかし、一方で充実を図りたい児童もいる。全体としての家庭学習の充実を図っていけるよう取組を続けたい。
(2) 潮風の中でたくましく生きる心と体の育成	B	・水泳や陸上競技の放課後の練習に学校体制で取り組み、子どもたちの力が伸びてきている。学校全体としての取組を続けたい。 ・縦割り班での給食・掃除等で、いい声かけがあったり、上級生から学ぶ姿があったりと充実した活動ができていたので継続したい。 ・あったか集会の取組が生活の中に生かされてきているところがある。しかし、一方で場に合った言葉遣い、「～さん」付け、あだな等への指導をしていきたい。 ・家庭でのゲーム使用時間、メディアとの関わり等について家庭と連携して進めていく必要がある。
(3) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり	B	・ホームページの更新、学年・学級だよりの発行により、子どもたちの頑張っている様子を引き続き家庭にお知らせしていきたい。 ・なかよしグラウンド・ゴルフ大会、水産教室、総合的な学習の時間の取組等で地域のよさを感じることができてきているので、地域とのつながりを大切にしていくためにも、しおかぜカフェ、招待給食の取組を充実させていきたい。 ・地域の方との関わりの機会に言葉遣いの課題やコミュニケーションの課題を克服していくようなことも考えていきたい。